

福岡教育大学

▼ 熊本地震に係る支援活動の概要

1. 義援金募集

寄附先	金額	団体
日本赤十字社	453,848円	学内教職員、学生
日本赤十字社	11,956円	初等教育教員養成課程1年生（一部）の課外活動として実施したイベントの売上金全額を寄附。

2. ボランティア活動

実施先	実施日	活動内容	参加人数
熊本県益城町	5月26日	瓦礫の撤去作業	教員1名、学生5名

3. 研究活動

- ① 本学黒木貴一教授（自然地理研究室）と本学大学院生1名が、4月17日に被災地の現地調査を行い、日本地理学会HPで調査結果を報告した。
http://www.ajg.or.jp/disaster/files/201604_kumamoto001-2.pdf
- ② 4月23日に、本学黒木貴一教授と西南学院大学磯望教授ほか2名による自然地理研究室合同調査にて、被災地の現地調査を行い、日本地理学会HPで調査結果を報告した。
http://www.ajg.or.jp/disaster/files/201604_kumamoto007.pdf
- ③ 日本応用地質学会では、4月24日に、調査団長黒木貴一教授ほか総勢約20名にて被災地の現地調査を行い、6月10日の総会において調査報告を行った。
- ④ 4月27日に、地盤工学会主催の緊急報告会にて、黒木貴一教授が調査報告を行った。
- ⑤ 黒木貴一教授と本学大学院生1名が、5月7日に被災地の現地調査を行い、日本地理学会HPで調査結果を報告した。
http://www.ajg.or.jp/disaster/files/201604_kumamoto010.pdf
- ⑥ 日本応用地質学会九州支部水文地質調査班では、5月14日に黒木貴一教授ほか1名にて被災地の地下水調査を行った。
- ⑦ 6月8日に、本学黒木貴一教授と西南学院大学磯望教授ほか2名による自然地理研究室合同調査にて、被災地の現地調査を行った。
- ⑧ 7月6日に土木研究所主任研究員ほか1名と、黒木貴一教授が合同の斜面地質調査を行った。
- ⑨ 7月16日に本応用地質学会の代表として、黒木貴一教授が日本学術会議の熊本地震3か月報告会で報告を行った。
- ⑩ 7月16日に、本学黒木貴一教授と西南学院大学磯望教授ほか2名による自然地理研究室合同調査にて、被災地の現地調査を行った。
- ⑪ 8月6・7日に、黒木貴一教授ほか10名による、本学と西南学院大学との自然地理研究室合同調査にて、被災地の現地調査を行った。
- ⑫ 一般社団法人福岡県臨床心理士会による、福岡県内臨床心理士養成大学院「ほっとひろばネットワーク2016」に参画し、福岡県内等に避難、転居等してきた被災者および関係者に対する無料の個別相談窓口を設けている。
【参照URL】
http://psycho.fukuoka-edu.ac.jp/counseling/room/xiang_tan_shitoppu

※今後も継続予定